

埼玉地方最低賃金審議会令和7年度実地視察

1 概要

(1) 視察先概要

社会福祉法人城南会

所在地 埼玉県さいたま市岩槻区真福寺 1465、岩槻区南下新井 1538-7

労働者数 法人全体で 188 名（男性 56 名 女性 132 名）（令和7年6月現在）

事業概要 高齢者福祉：ケアハウス、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問介護、ショートステイ、居宅介護支援事業所
障害者福祉：訪問介護、デイサービス、ショートステイ、相談支援事業所
外国人紹介・支援：有料職業紹介、登録支援機関
介護人材育成：介護スクール

(2) 視察日

令和7年6月9日（月曜日）午後2時から午後4時まで

(3) 視察者等

視察先法人 労務管理担当者等 6 名 最低賃金額近傍で勤務する者を含む労働者 3 名

埼玉地方最低賃金審議会委員 公益代表委員 5 名 労働者代表委員 3 名 使用者代表委員 3 名

埼玉地方最低賃金審議会事務局 5 名

2 事業場の視察

特別養護老人ホーム及びケアハウスの各階を回り、労働者の様子を視察した。

3 労務管理担当者等との意見交換の概要

(1) 賃金の決定関係

賃金を上げないと、人が来なくなってしまうている。

介護報酬は 3 年に一回改定があるが、物価上昇の中では差し引きでマイナスとなっており、介護業界特有の処遇改善金についても、それ以上の金額を処遇改善として充てざるを得ない状況となっており、これが人件費率を圧迫している。介護報酬と処遇改善金を合わせても、職員を確保して安定的に運営していくことは、これからますます難しくなると考えている。

最低賃金が上がると、介護報酬が上がらない中で経費を見直すことも困難な中で、法人側はその費用を工面するしかない。

(2) 人手不足関係

業界で勤めたいという人が減っている中で、例えば、日中はお子様を預けている 10 時から 13 時までしか働けない人のための仕事を作るなど、細かい分業を始めている。

近年は、モンゴルを中心とした外国人労働者を受け入れている。本当に夜勤もきちんとやってくれる。

利用者の少なくなった事業は止めて、メインの事業に充てていくような事業の選択と集中を行うことも考えている。

介護職員からケアマネジャーにスキルアップできることをこれからも示して行って、平均継続年数を延ばしていきたい。

(3) 物価上昇関係

業界では厨房を委託することが多く、当法人も委託してきたところ、厨房委託費が相当上がった。2 年前から厨房の委託を止めて自前の食事に変えたことにより、支出的に大きく改善された。

(4) 補助金・助成金等の支援関係

当法人では、通常、業界に特化された助成金を探している。社会福祉法人は自らを特殊な法人であると思っているところがあり、民間事業者に使える補助金・助成金は当てはまらないというような勝手な解釈をする向きがある。業務改善助成金については知らなかった。今後は、補助金・助成金の情報の仕入れる方法を変えていく必要があると思う。

省力化のために、コールが鳴る前にモニターとかで職員に気づかせるような見回りセンサーの導入には多額の費用が必要となることから、何らかの補助金・助成金の活用ありきで検討していくことが必要と考える。